



◇職員紹介◇

言語聴覚士 宮下 真奈美(みやした まなみ)

平成26年7月から武蔵野徳洲苑に勤務しております。言語聴覚士は、ことばや食べることに問題がある方のリハビリを行い、コミュニケーション能力の向上や安全な食事摂取の維持・回復を図ります。コミュニケーションもお食事もお生活の質にかかわる身近で大切なものなので、日々の触れ合いを通して、少しでもその方らしい生活をお送りいただけるようお手伝いしたいと思っております。お困りのことがありましたら、お気軽にお声

◇職員紹介◇

支援相談員 荒井 勇兵(あらい ゆうへい)

武蔵野徳洲苑支援相談員の荒井と申します。デイケア、リハビリ、フロア介護士を経て、この度、支援相談員となりました。武蔵野徳洲苑は今年で3年目になります。当苑の隣には武蔵野徳洲会病院が建設中であり、入所者様・ご家族様・ケアマネジャー様からのお問い合わせも多く頂いており、期待の大きさが伺えます。これからは病院併設の老健施設として、地域に根ざしたサービスを精一杯提供していきたいと思っております。



武蔵野徳洲会病院 平成27年春オープン！

平成27年春、徳洲会グループの新病院である武蔵野徳洲会病院が、武蔵野徳洲苑の隣にオープンします。

東京都多摩地区の医療を東京西徳洲会病院と武蔵野徳洲苑で三位一体となり、支えていきます。

- 病床数 : 210床 (一般160床・療養50床)
- 構造 : 地下1階/地上6階
- 診療科目 : 内科・外科・循環器内科・整形外科
小児科・泌尿器科・心臓血管外科
形成外科・消化器内科・神経内科
放射線科・歯科口腔外科
リハビリテーション科



さたけ散歩(ミニ) 第1回

■施設周辺のご案内 「小金井の桜」
(武蔵野徳洲苑から徒歩15分)

玉川上水の両岸にある桜並木は、いまから277年前の1737年に植えられたもので、大正13年に「小金井桜」として名勝に指定されました。明治時代には明治天皇をはじめ皇族方も観桜に訪れていた由緒ある

り 武蔵野
通所リ
徳洲
苑
空
苑
空
苑
空
苑

制作・編集・印刷・発送
佐竹 弘太郎/武蔵野徳洲苑広報員会

〒188-0013
東京都西東京市向台町3丁目5番57号
☎042-465-0800 fax042-465-0812
医療法人沖繩徳洲会

円居(まどい)



介護老人保健施設武蔵野徳洲苑 広報誌のタイトルにある「円居(まどい)」とは、団欒の意。利用者様・ご家族様が集まり、楽しく語り合える施設を目指して名付けました。

「サルンに集まる時などは円居が大抵三つ位に分れて出



施設長ご挨拶

この10月から武蔵野徳洲苑の施設長を拝命しました。私は昭和38年に日本医科大学を卒業後に母校の第一内科(循環器内科) 故木村栄一教授の医局に入局しました。木村教授はのちに日本医科大学の学長と日本循環器学会の理事長に就任された大変厳しい先生でした。入局1年半後に米国の外国人医師資格取得後にニューヨークのメソジスト病院の内科インターンに従事して帰国し、7年後に狭心症の研究で学位を取得後に家族とともにロスのUCLAとカナダのモントリオール心臓研究所にそれぞれ一年間循環器フェローとして留学しました。1979年の1月から防衛医科大学で約25年間内科医として勤務しました。定年退職後は日野原重明先生が理事長のライフプランニングセンターや先輩が開拓した社会福祉法人福音会の医師として高齢者の健康管理に従事してきました。今後は当施設でこれまでの経験を活かして高齢者の健康管理に努めますのでよろしくお願い致します。



事務長ご挨拶

徳洲会グループである武蔵野徳洲苑は、平成24年5月1日、東京都で初めての老健(150床)として開設しました。来年6月には、併設して24時間365日救急対応を標榜する、病床数210床の東京都二次救急医療の新病院がオープンします。これもひとえに、ご利用者様、ご家族様、地域の皆様のご支援、ご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。

さて、平成27年は介護保険制度の施行15年の節目に当たり、介護報酬制度の見直しを伴う大改正となります。中でも注目すべきは厚生労働省が発表した「地域包括ケアシステムの構築」で、医療ニーズを併せ持つ要介護者の増大が見込まれる2025年(平成37年)に向けて、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の構築が課題とされています。そのためには、高齢者ケアの基本を踏まえた日常生活サービスの提供が必須で、施設では明るく楽しい普段の家庭生活に近い雰囲気作りを心掛け、理学療法士・作業療法士等による本格的なリハビリテーションは勿論、看護師や、介護士及びケアマネジャー、管理栄養士等によるチームケアでQOLの向上をはかります。また、継続して在宅生活が可能となるように、家庭内介護者を支援するための、通所リハビリ(デイケア)・短期入所(ショートステイ)にも更に注力します。将来的には新病院の開院を機に、訪問看護・訪問介護・訪問リハビリテーション等の居宅介護支援事業も行い、きめ細やかな各種サービス提供を視野に整備を行いたいと考えています。今後も施設長をはじめ私たち職員一同は、互いに切磋琢磨してこの社会的な要請に応えるべく、介護サービスの更なる充実に努めたいと思います。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

徳洲新聞 毎週月曜日発行 当施設受付にて

◆協力医療機関のご案内◆

東京西徳洲会病院
東京都昭島市松原町3丁目1番1号

私たち武蔵野徳洲苑は、地域に根ざした頼りになる施設を目指します。誰もが最善の福祉を受けられる社会を目指して。

さたけ散歩

東京都内にある江戸～現代の史跡や名所を散策。これを読めば東京通になれる。毎週月曜日、施設受付・デイルー

武蔵野徳洲苑 夏祭り 開催



利用者様が作ったお神輿がフロアを練り歩きます！



集中して魚釣りゲームに興じている利用者様。



お神輿の細かい彫刻もすべて手作り。匠の技が冴えわたります。

平成26年8月3日(日)に夏祭りを開催致しました。午前中の魚釣りゲームでは景品取得を目標に、普段の穏やかな表情とは違った闘争心むき出しの皆さんの表情が印象的でした。ヨーヨー釣りでは幼い頃の懐かしい思い出がよみがえったのか、楽しそうに目を細めておられました。午後は職員による歌謡リサイタルショーです。誰もが耳にしたことのある名曲の数々に思わず口ずさんで、リズムをとられる方、一緒になって歌われる方、皆さんとても楽しそうに沢山の笑顔を見ることができました。おやつには水羊羹やジュース、ノンアルコールビールを提供させていただき、大好評のもとに終了することができました。今後も利用していただいている皆様やそのご家族の方々に喜んでいただける、より良い武蔵野徳洲苑を目指して励んでまいりたいと思います。



～施設の花～



今夏、寺木医師からいただいた朝顔が玄関を彩りました。

武蔵野徳洲苑における感染症対策について

今年もインフルエンザを初めとする感染症が多発する季節になりましたので当施設における取り組みについて概説します。高齢者は加齢とともに抵抗力が低下しているために咀嚼機能、心臓、肺、腎機能なども低下しているため容易に心不全、肺炎、尿路感染を起こします。その対策の柱は、第一に感染源の排除、第二に感染経路の遮断、第三に身体に抵抗力をつけることです。感染源としては嘔吐物、尿や便などの排泄物、喀痰や傷からの膿や使用した注射針や汚い手指で触れた食品などです。したがって当施設ではまず自分自身の健康度をチェックし常に手洗いに心がけながら介護ケアに当たっています。インフルエンザは臨床的にはインフルエンザウイルスが病原体となった疾患では通常は38℃以上の発熱、咽頭痛や寒気、四肢の冷感や筋肉痛を伴う症状が主です。その場合はすぐ抗体検査を施行し必要に応じて感染症委員会を開催し迅速に対応致します。インフルエンザに対する抗ウイルス薬としてタミフルとリレンザがあり早い時期の投与が有効ですので当施設ではこれらの薬剤を常に用意して対応することにしています。冬場にはノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生が報告されています。梅雨時期に発症する食中毒は細菌性食中毒が主ですが、感染性胃腸炎は冬場に流行し腹部症状が主で死に至る重篤な例は稀です。しかし苦痛は大きく、十二指腸潰瘍を併発することもあります。感染経路はカキなどの食品媒介、接触、飛沫などです。このウイルスは他の微生物に比べて熱に強いので、85度で1分以上の加熱が必要です。現在ノロウイルスに効果のある抗ウイルス薬はなく、治療は脱水や体力の消耗にならないように水分と栄養の補給が中心となります。当施設では調理現場の責任者と話し合いながら食品管理に心がけています。なお下痢止めは体力を消耗することがあるのであまり使用しないのが原則です。以上、簡単に冬場に多く見られる感染症について概説致しました。当施設では勉強会などを通じながら研鑽に努めています。

家族会(10/10)

講師：施設長 栗田 明

平成26年10月10日(金)には今年度第2回目の家族会が開催され、ご家族様から施設長への質問が数多く寄せられました。ここではその一部をご紹介します。

Q. ご家族

主人は面会に来て「うるさい！黙っている！」「すぐ帰れ」というようなジェスチャーをします。主人は3回目の脳梗塞で言葉がでなくなりました。言葉の理解はできているが言葉が出ず、書いたりすることもできない。

A. 施設長

音楽を聴きながら昔の話をしたり、昔の写真や孫の写真などを見せてはどうか。アニマルセラピーなどもあります。

Q. ご家族

自分のことも重ね合わせて勉強になりました。音楽が良いことはわかりましたが、多床室では他の方の迷惑になってしまうのでは？

A. 施設長

イヤホンを使用すれば大丈夫。1日1時間くらい音楽を聴くことはいい。何回かにわけて聴いてもOK。小鳥のさえず



◇感染症対策対策強化中◇

家族会(6/14)

～安全な移乗について～

講師：作業療法士 吉田 智昭

平成26年6月14日(土)に今年度第1回目の家族会を行いました。今回のテーマは「安全な移乗について」。当苑のリハビリ職員 吉田智昭(作業療法士)より、車椅子からベッドへの移乗を中心に、実技を交えて介護のポイントをご説明しました。17名の方にご参加頂き、質疑応答も活発に行われ盛況となりました。今後もより充実した家族会にしていきたいと考えています。ご参加をお待ちし

